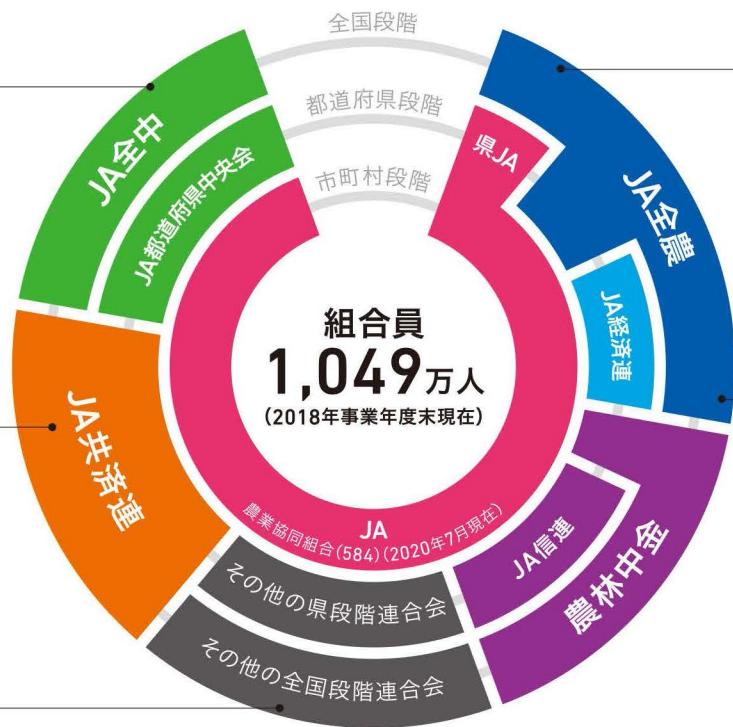


# JAグループの組織とJA全農の事業

まず中心に「組合員」つまり生産者の皆さんがいらっしゃいます。それを取り巻くのが、市町段階のJAです。農家組合員の一番近くで農業生産に関わることや組合員の生活に関わる幅広い事業をしています。そして、JAのさまざまな事業を効率よく支援するため、都府県段階での連合会・中央会があり、全国段階での全国連があります。

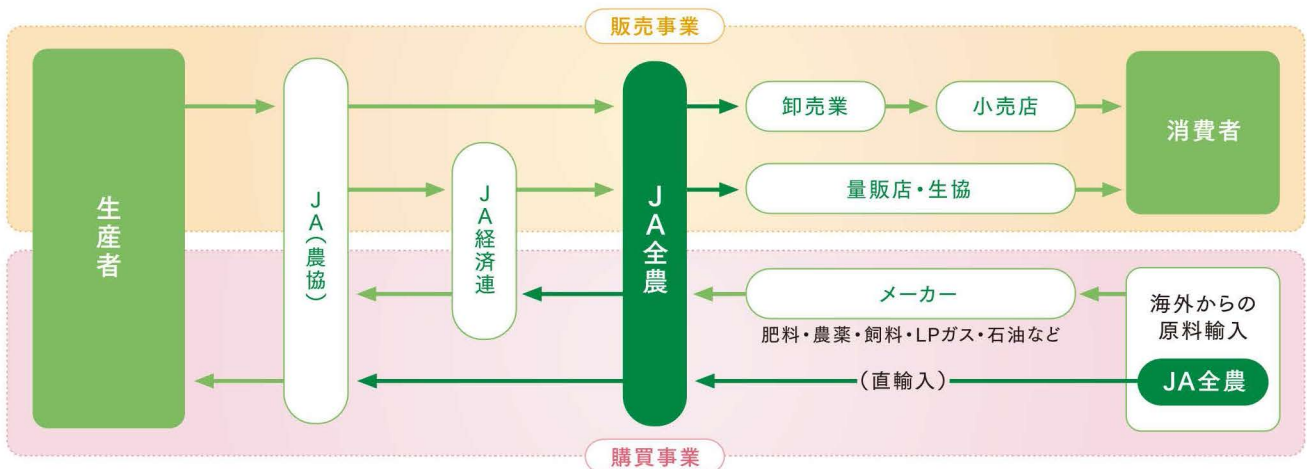
- 代表・総合調整 経営相談事業**  
 JAグループの意見を代表・総合調整し、組織、事業及び経営に関する相談に応じる。
- 共済事業**  
 生命共済、損害共済、年金共済を扱い、組合員の生活を保障する役割を担う。
- その他の事業**  
 厚生事業、新聞情報事業、出版・文化事業、旅行事業を行う。



- 経済事業**  
 組合員の生産した農畜産物を消費者に届ける「農畜産物販売事業」と組合員に必要な資材を供給する「生産資材販売事業」を行う。
- 信用事業**  
 組合員の貯金を原資に組合員に対する各種金融サービスを行う。

連合会のうち、「経済事業」を担う組織がJA全農です。経済活動に関するさまざまな情報・技術・物資を効率的に使えるよう仕組みをつくり、国民全体に「食料」を供給するという役割があります。とくに近頃では、食を通じて消費者に「安全」「安心」といった「生活の豊かさ」を提供する役割も強まっています。

経済事業には、大きく分けて「販売事業」「購買事業」の2つの事業があります。



「販売事業」とは、農家が生産した農畜産物(米、肉、卵、野菜など)をJAを通じて消費者に届ける事業です。  
 「購買事業」とは、営農や生活に必要なものをJAを通じて組合員に届ける事業です。  
 取扱い品目は、肥料、農薬、飼料、農機など生産資材から、食料、燃料など生活用品まで幅広くあります。